

一 般 質 問 総 括 表

(令和4年12月議会定例会)

No.1

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
大場洋介	1	地域を盛り上げる情報発信力について	地域観光の全体像を町長はどう考えるか。地域に人を呼び込む魅力発見の着眼点や情報発信のポイントを伺う。	
	2	町行政でのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	① マイナンバーカード事業におけるデジタルデバインド解消支援について ② AI導入等の業務の効率化、行政サービス向上への取り組みについて	
沼澤道也	1	プレ町政100周年企画について	① 町政100周年記念の考え方や方向性はあるのか。 ② その一環としてプレ町制記念事業の私案についての評価は。 ・山崎地区の「花設置」に学び全戸への取り組み（特にGV路線など） ・役場内部にある「絵」等の芸術品の展示変更で文化が感じられる庁舎にする（岸英三氏の絵も含む） ・町民ホールの絵の紹介版の設置 ・小・中学生のカムロスキー教室（スキー授業として）の開催	
	2	これからの金山農業振興について	① 現状把握のための金山独自の実態調査が必要と思われるが（課題の整理と取り組み優先順位の設定） ② 「担い手」（認定農業者）層との話し合いの設定での事業化の明文化	
中村忠行	1	農地の有効利用促進について	① 令和5年農業政策による賃貸借や売買のミスマッチの懸念と対策は。 ② 遊休農地と思われる農地が散見されるが、現状と基準は。 ③ 水田畑地化の増加が見込まれるが、町農業振興計画の見直しは。 ※①と②については農業委員会会長に伺う。	

一 般 質 問 総 括 表

(令和4年12月議会定例会)

No.2

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
早坂憲明	1	持続可能な町づくりについて	<p>① 外国人資本家による観光資源、山林、農地などの買収が激化しており、津軽海峡の向こう北海道は、中国の「32番目の省」になる日がくると言われております。外資による土地買収を、我が町はどのように捉えるか。</p> <p>② 今後、我が町でも起きうるであろう「日本や外国の大資本家による土地の買収、それを守り抜く対策を今から講じておく必要があると思われるが、その考えは。</p> <p>③ 我が町では、土地所有者が不明な土地、農地はどれくらいあるのか。また、町民以外の方が所有する土地、農地はどれくらいあるのか。</p> <p>④ 世界平和の第一歩は、人間社会の最小集団「個々の家庭」が源となります。「住んで良し」という町の具現化を目的として、隣の家庭、集落にある家庭が協力、共有して、その場所に住む人々が共生できる仕組みを構築する必要性を感じるが、どう思われるのか。</p>	
栗田保則	1	中央公民館機能を改善センターに移設した。町民への利活用に影響はないのか	<p>① 中央公民館については、新築案・改修案ともに廃案とし、9月から公民館機能を農村環境改善センター内に移設した。現在、コロナ禍で集会等が少なくなっているが、コロナ終息後を見据えた場合、大ホールや会議室の代替えは大丈夫なのか。</p> <p>② 中央公民館、改善センター、やくし苑、体育センター、子育て支援センターなどの公共施設の集約化を図ったことにより、利用者の駐車場不足が心配される。特に、これからの冬期間を含めてどのように考えているのか。</p>	
	2	旧中央公民館跡地利活用について	<p>① 旧中央公民館は、早ければ令和5年度解体予定となっている。解体後の跡地利活用は、駐車場機能を含め、現在プロジェクトチームで検討されていると思うが、進捗状況は。</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和4年12月議会定例会)

No.3

			② 隣接している防災倉庫も旧中央公民館と同時に解体した場合、移転先の考えは。	
	3	やくし苑の利活用について	① やくし苑の大改修工事が完了した。災害時の避難所機能も含め、具体的な利活用の考えを伺う。	
星川智子	1	交流人口・関係人口増加に金山町が期待する効果は	<p>① 交流人口・関係人口を増やして金山町が期待する効果は何か。金山町の取り組みと成果は。</p> <p>② 広報かねやま10月号ソーシャルイノベーション創出モデル事業は、町がどのように関わって実現していくのか。</p> <p>コーデイネーター新関さんのコメントにある活発な若者が少ないと思われる理由をどう考えるのか。</p> <p>考えて働く若者を創り出す一つのベースとして、金山校の模擬議会を進化させ質問だけでなく、遊佐町のように予算をつけて事を形にする訓練をしてはどうか</p> <p>③ 町の大イベント、かねやま祭りや産業まつりは今年の開催を踏まえてどうするのか。</p> <p>④ 我孫子市と災害協定を結んでいるが、文化交流や経済交流をしてはどうか。</p>	
	2	デマンドハイヤーは町の交通弱者また交通難民の足になれるか	<p>当日予約の対応や土日でも利用したい、運行時間がもう少しだけ遅い便があると便利という希望の声を受けて町が考えるデマンドハイヤーの運行は、路線バスの代替えとしてだけのものなのか、交通弱者、交通難民を救うものとなりえるのか伺う。</p> <p>広報かねやま11月号の半年間のデータをみると利用者の数は少ないように感じるが、予算の面と運転手の確保の面での有余は。</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和4年12月議会定例会)

No.4

須藤典夫	1	第9期の介護保険料の見通しはどうか。	<p>現在、被保険者の月額保険料が7,900円と県内トップの高止まりとなっている。介護給付費を抑えるために「介護予防事業」「健康づくり事業」に取り組んできている。来年度改正の保険料の見通しはどうか。</p>
	2	デマンドハイヤー事業の利用者状況と課題について	<p>町のデマンドハイヤーは自分で乗り降りできることが条件となっている。</p> <p>現在の利用状況はどうなっているのか。課題などはないか。これからの事業展開で、障害者手帳や要支援、要介護の認定を受けていないが、歩行などに不安を抱えている人も少なくない。また、車いすを利用している人にも、もっと気楽に外出できる環境を整えてあげられないかを考える。福祉車両の導入も必要ではないか。</p> <p>以下余白</p>